

## 2023 年度秋季大会報告

### チャレンジ支援委員会「わかばさんいらっしゃい」「コンシェルジュ」報告書

チャレンジ支援委員：濱田、高橋、香月、末松、吉川

2023 年 11 月 25 日(土) 12:10-13:00 わかばさんいらっしゃい

2023 年 11 月 25 日(土) 12:00-16:00、26 日(日) 9:00-13:00 コンシェルジュ

秋季大会が4年ぶりに対面開催されました。それに伴って、「わかばさんいらっしゃい」「コンシェルジュ」を大会会場である山形テルサで行いました。

「わかばさんいらっしゃい」は大会1日目の12:10-13:00に開催されました。初めて大会に参加する「わかばさん」を主な対象として、初参加の不安を取り除き、大会を楽しむコツを押さえ、「わかばさん」同士のネットワークを築く機会の提供を目指しました。事前登録には7名の参加申し込みがありました。当日は委員の呼び込みのいかもあって、17 名の方が参加してくださいました。会の前半では、委員から学会参加へのガイダンスと質疑応答を行い、15 分ほどで大会全体のスケジュール、各種発表の特徴を説明しました。後半ではわかばさん同士が交流する「わかばさん交流会」を行いました。交流会では3~4人でグループに分かれて約 30 分間わかばさん同士が交流を楽しみました。大会への参加目的や現在取り組んでいる研究テーマ、教育実践上の疑問など話題はいろいろで、年代や地域の垣根を越えて活発な交流が行われていました。時間になっても交流は止まらず、その後も会場に残って情報交換を続けていました。



参加者による事後アンケートでは、16 名の方から回答をいただきました。会の開催日時については全員の方が適当と答えており、今後もこの時間帯に行うのが適当だと思われませんが、今回は直前のプログラムや大会の参加受け付けの関係上、会の開始が予定より遅れました。大会や会場の事情によって臨機応変に内容を調整できるような柔軟な対応が必要です。「交流会」については、ご回答くださった方全員から肯定的な回答をいただきました。自由記述に「同じ状況の仲間と知り合えた」「普段あわない方と話ができた」などの意見があり、交流会を行った意義があったと感じられました。

「コンシェルジュ」は、わかばさんが大会に円滑に参加できるように、常設ブースを設けて随時質問に対応するというものです。大会2日間を通して大会受け付けのそばにブースを設置し、委員が黄色い法被を着て、いろいろな方からの質問に対応しました。記録に残っている対応件数は 16 件でしたが、そのうち半数ほどは当初想定していた学会参加に関する質問とは関係の薄い質問でした。また、委員は黄色い法被を着用して目立ってはいたようですが、それが何をする人なのか十分に認知されていないようでした。黄色い法被を着ているのがチャレンジ支援委員であること、そしてコンシェルジュブースで対応をしていることをどのように広く周知するのか、また、ブースではどのような質問に対応していくのかについて、今後再検討が必要です。



「いらっしゃい」「コンシェルジュ」にお越しくくださったみなさま、ありがとうございました。